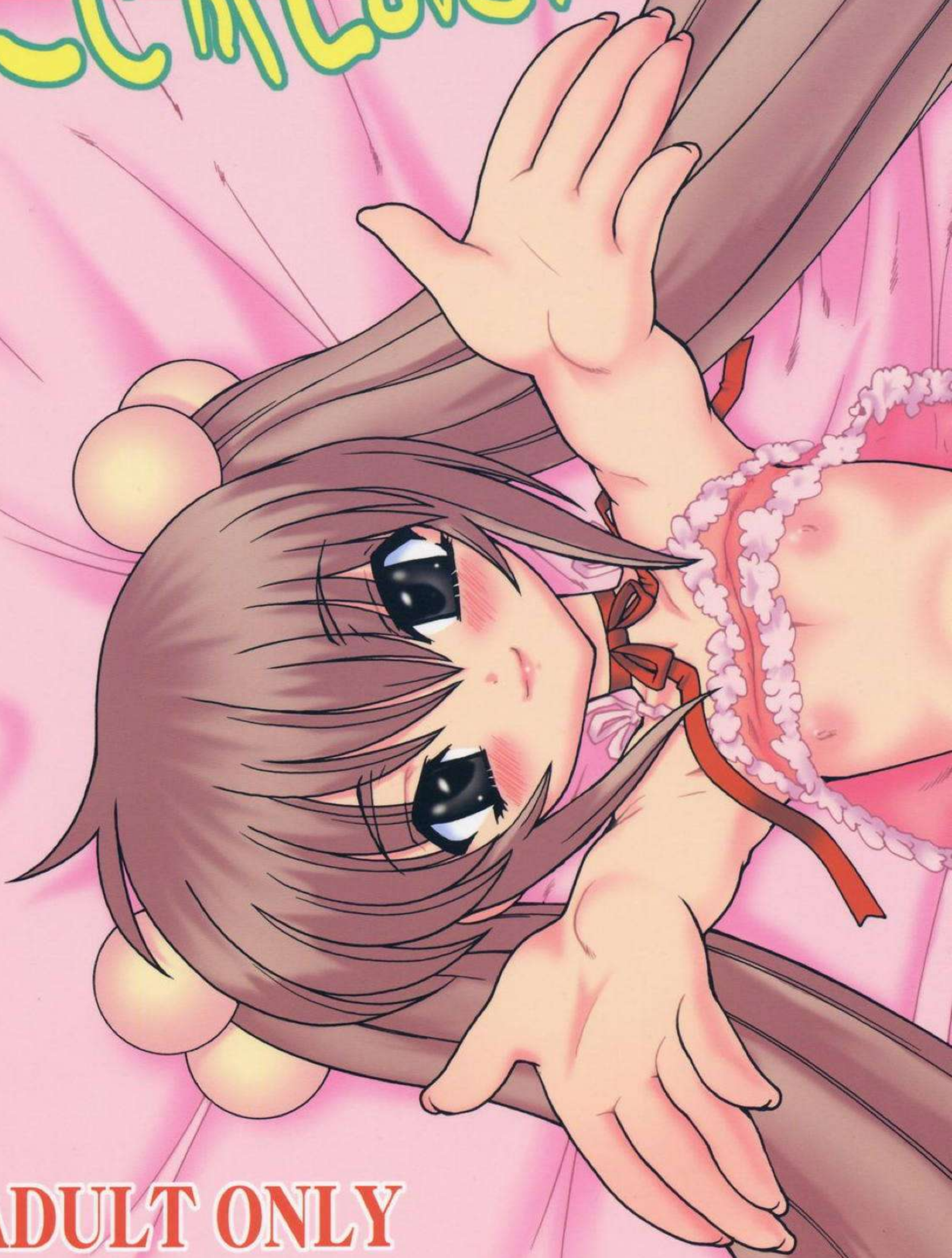


こいかlover♡



ADULT ONLY



こじがLOVE

By 龍炎狼牙

まえがき

お久しぶりです！または初めまして！

どっちか当てはまる方の挨拶でこんにちは、龍炎狼牙です。

今回はかなりキチキチのスケジュールで作業しましたが
手を抜いたつもりは無い！です！！毎回全力投球！！

御陰様で今年は間違いなく寿命が縮みました。

でもまあ、こんな素敵な原作にも出会えたし、仕事がある事は良い事だ！！

という訳で、今回も気合を入れて描きました。

ってというか同人誌なんて好きな物じゃないと描けないです。

流行りに乗れてないだけでも言えますが（笑）

ではでは、あとがきにて再見！！



贈り物ですか？

あ、…はいっ

リボンは何色に
しますか？

え、えーと…青でっ

畏まりました♪

—はい、包装
出来ました♪

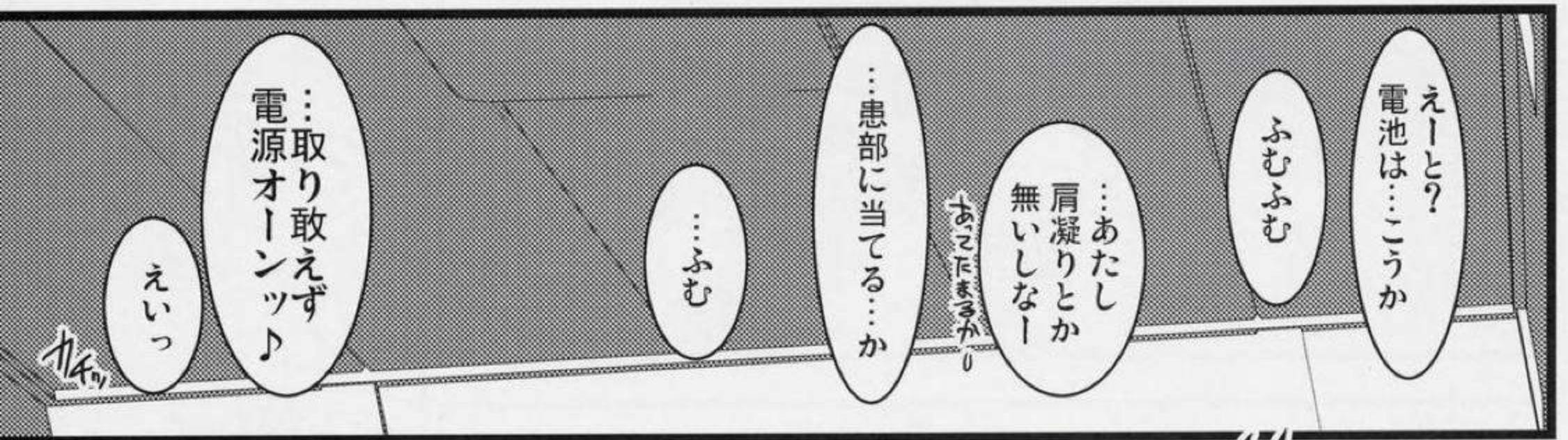
お父さんに
プレゼントかな？

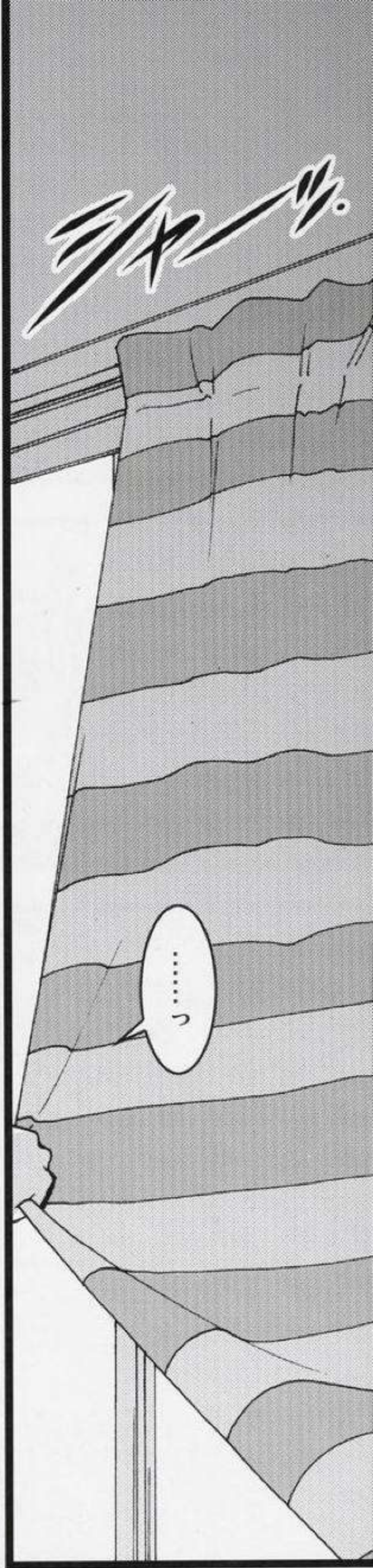
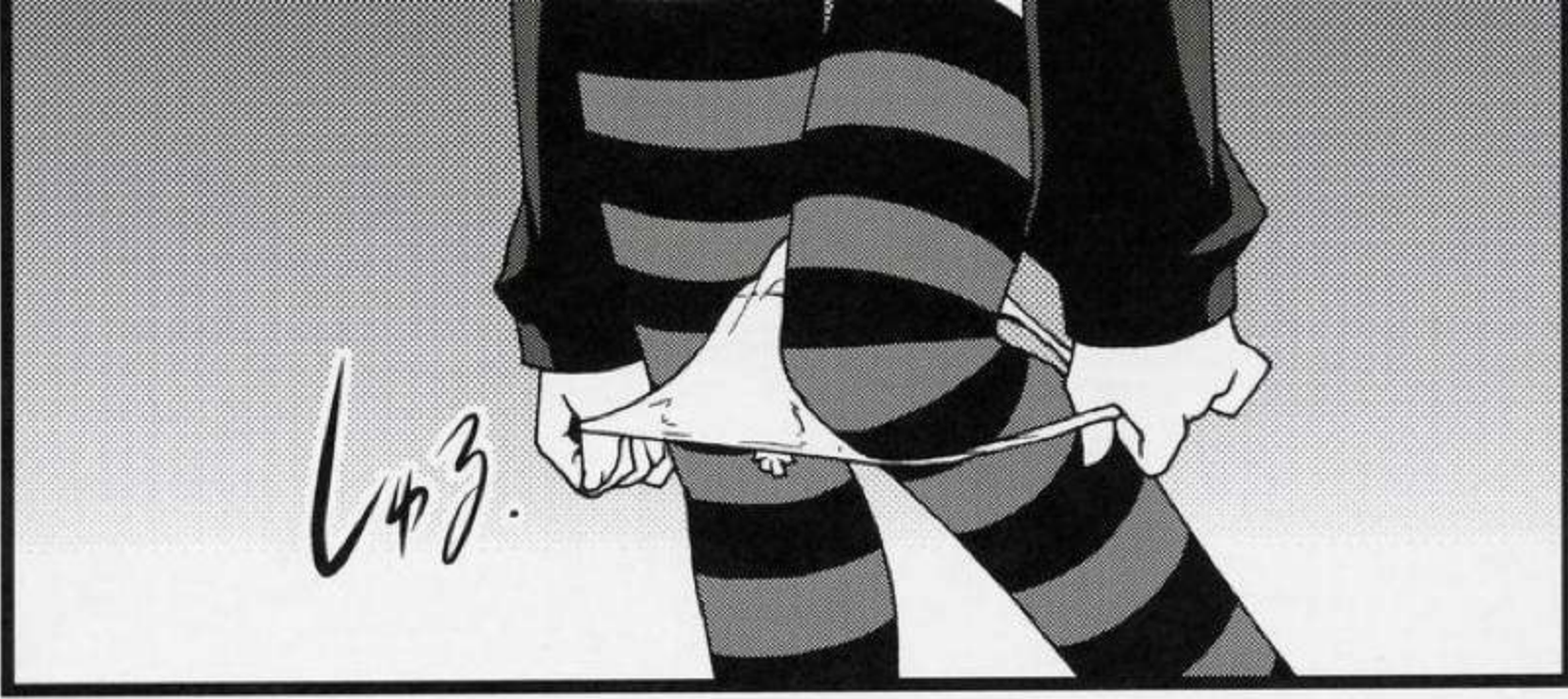
気を付けて
帰ってね♪

内緒な

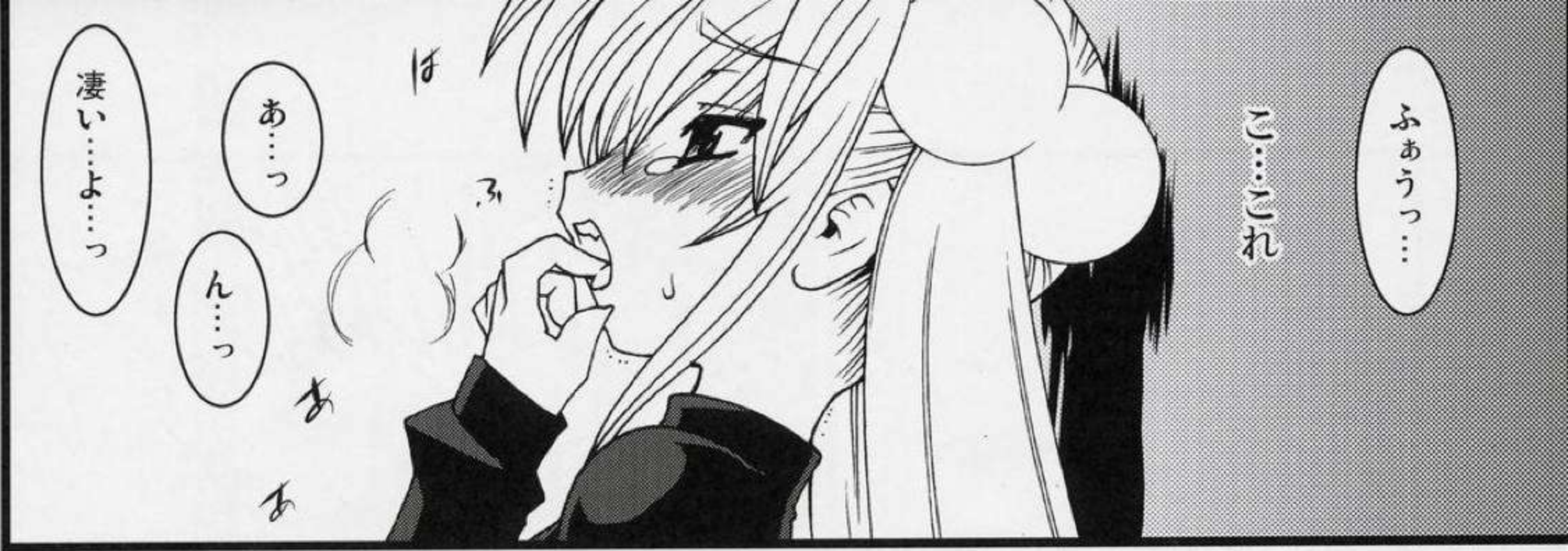
初めての買い物











凄い...よ...っ

あ...っ
ん...っ

あ
あ

ふあうっ...

こ...これ



あーっ!!

頭の中まで痺れる感じ.....っ

身体の芯から

あふあ

あああっ

かた

かた

かた

かた

かた

かた



何か来る、来ちゃう……っ!?

……っ!!



あ、え……っ?

な、何……?何か、何か……



な…何
今…の…?

いつも指でするのと違った…

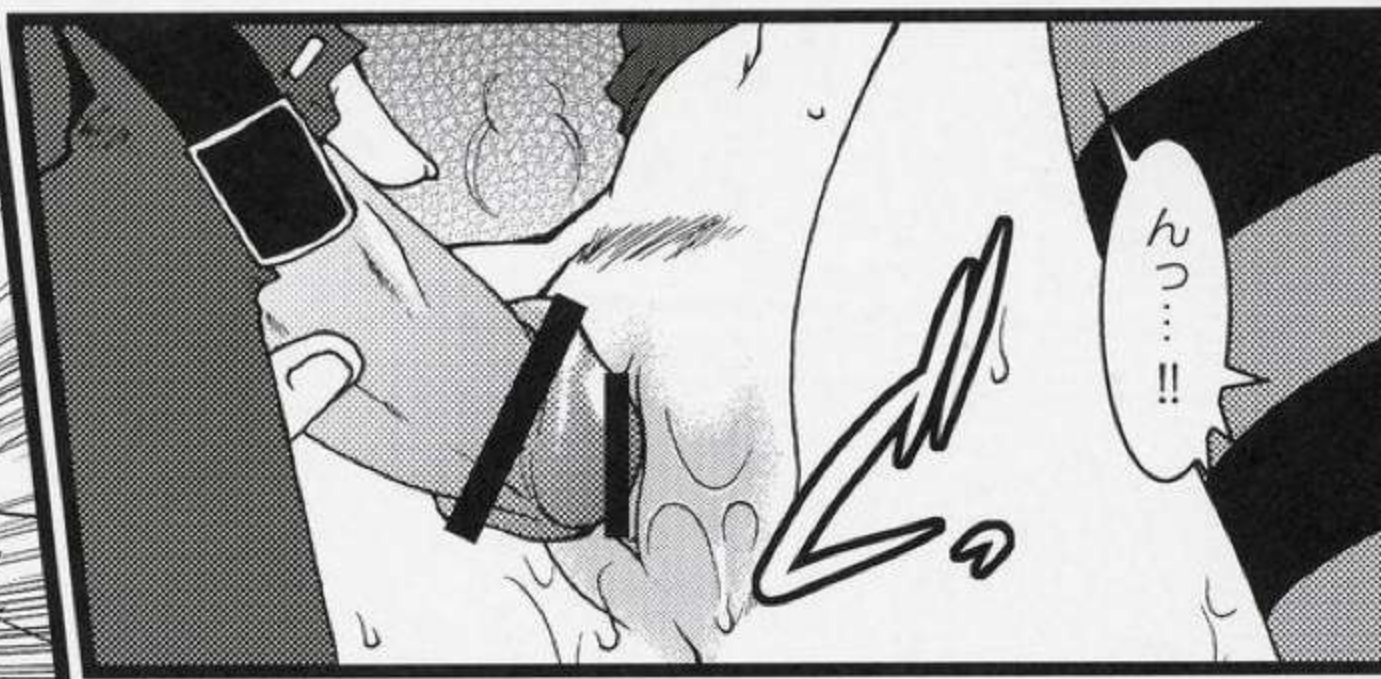
何かが弾けて、ビリビリしてた……

あ……

は

は……

ちゅ





あ

こんな風に激しいのかな...

ふああ...っ

あ

は

あああ...っ!



ま、まだダメッ...

や、あっ...!

入らない...よお...っ!!



ダメ...先生...

あ

もっと...ゆっくり...

先生、童貞だから...



あんっ...!!

先...生っ...ダメエ...ッ

こんな風に荒々しくされたいのかな

あ熱うい...っ!!

そんな...あ とこ



そんなに あ

激しく...っ

ダメエ...ッ

恥ずかしい、あたし



あ…くまちゃん
突起が擦れて…

ふ、あああ…!!

これ…気持ち良い…っ



はあ…っ…九重…

凄く濡れてきたよ…



や…言わないで先生…

恥ずかしいよう…



ダメ、手が止まらない…

あ、だめ…先生

そこ、そこお…っ

やああ…っ

止まらないよお…っ









先生を全部感じたい…っ

んっ…!!



来て…?

—凄く欲しい…今…



九重、無理しなくても—

ううん

先生が欲しいの…



太…いい…っ!!

あ、あ、あ、あ

は…っ

あ、あ、

あ——っ!!



あ、先生、ダメ

もっし、もっし
ぐんぐん……っ

入らない……けどっ

うあ……っ……

こんな……風に……っ……

あ……っ!!

ふあああっ

先せ……え……っ!!

どん

はあ

どん



九重、九重…っ

好きだ、九重…っ

あ

先生、もっと、
もっと言って…

好きって言って…!!

好きだよ、好きだ、
九重、お前が…っ



そんな風に言われたら

あ 先生 先生…っ

先生、もっと、
もっと呼んで…っ

きつと狂っちゃう



もっとりんを呼んで、
好きって言って…

名前で…名前で
呼んで、先生…っ

りんって呼んで…っ!!







よりもよって、
最後にレイジが
出て来るなんて…

…やっぱり、いつも
名前で呼ばれてるのが
大きかったかな…

ゴトゴトゴトゴト



だってレイジは

お母さんの大切な
人だもんね



しごめんね、
お母さん…

もう間違えない
様にするから
許してね…？



—よしっ、
こうなったら

明日から先生に
いっぱい名前で呼んで
貰う事にしよう♪

さーて、どんな作戦に
するかな…♪

あとがき

読了、ありがとうございました。

今回はこじか本でしたが、正直描き始める直前まで悩んでました。

1巻を読んだ時には「これ良いなあ、これで同人誌行けそう」とか思っていたんですが、

2巻を読んだ途端に涙が… 正直、秋さんの存在が大きすぎました。

最近、情緒不安定な所もあって泣きが入りやすいのはあるんですが、とにかく読み返す度に泣けます。

(ちなみに「からくりサーカス」のコロニーが逝く話も読み返す度に泣けます)

作品を汚す、という点ではパロディを描いている時点で

避けられない物だと思いますが、今回ほど罪悪感に苛まれたのは初めてです。

因みに、本番シーンは妄想という夢オチ的な作風ですが、

自分は現在進行形の作品で「if」物を描くのが苦手です…

そういった理由で、ゲームなどの「if」が自由なジャンルで同人誌を出す事の方が多いです。

なので、今作は出来るだけ本編とリンクして読んでも違和感が無いように…という形を取ってます。

しかし実際、どんな最終回になるんでしょうね…こじか。

りんも大好きだし青木の気持ちも判るし、それこそ二人が

くつつくラストが理想なんでしょうけど、多分そのパターンは無いような気がします。

寧ろ、2巻口絵や途中のエピソード、最近読んだ本誌の方を見てる限り、

レイジとりんの関係がとても重要な気がするので。

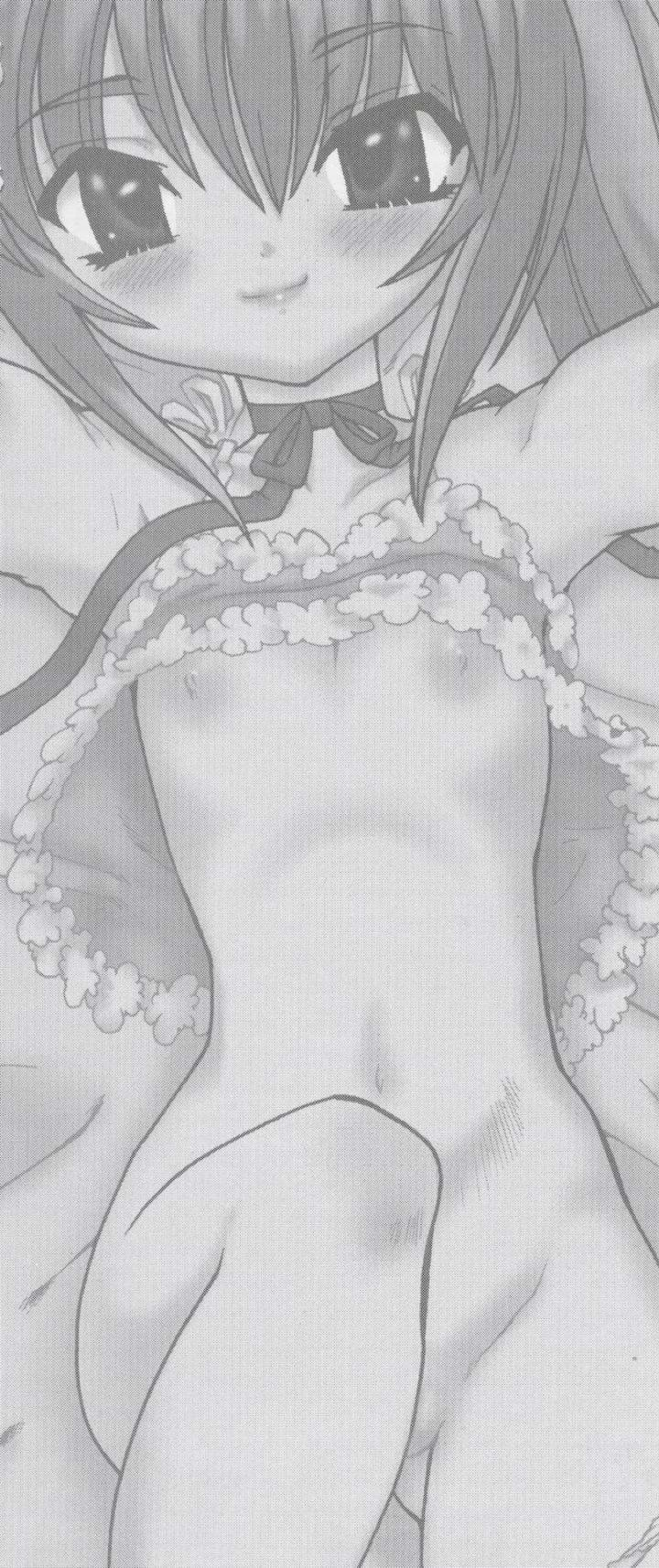
あと、宝院先生や白井先生など、お気に入りのキャラも多いので目が離せない作品です。

宝院先生が健気で可愛いんだこれが…！ 青木には勿体ないけど、良いカップリングだと思ったり。



ではでは、もっと書きたい事や
語りたい事はありますが、今回はこれにて。
2007年も何卒宜しくお願い致します！！

2006年11月某日 龍炎狼牙



奥付

発行日
2006/12/31

発行人
龍炎狼牙

暫定公式サイト
<http://seiya-h.com/ruen/ruen.html>

※禁無断転載、無断upload

部分的な使用でも、転載などをする場合は公式サイトを確認の上、承諾を取るよう
して下さい。

Presented by 龍企西

2006/12/31

